

『緊迫する中東革命、ビンラディン殺害による治安悪化と企業対策』勉強会

◆第一部 緊迫する中東革命、ビンラディン殺害による治安悪化 14:00~15:30

【講師】桜美林大学 加藤朗教授（リベラル・アーツ学群教授、国際学研究所所長）

1. 中東革命

- (1) 長期化・拡大化した民主化革命で考えられる次のステップ
 - ・どこまで広がり、いつまで続くのか、どのような変化が訪れるのか
- (2) エジプトのムバラク政権崩壊後の行方
 - ・政権の行方
 - ・他国（イスラエル等）への安全保障方針の変更はあるか
- (3) アメリカの中東・北アフリカ政策に関する変化を予測する
- (4) イスラエルへの影響
 - ・中東・北アフリカにおけるイスラエルの立場に変化が生じるか
 - ・パレスチナ自治政府ファタハとイスラム原理主義ハマス（ガザ）の統一政府樹立合意による影響
- (5) 日本企業の進出が多い国への影響
 - ・中国、ロシア、インド、パキスタン、バングラディッシュなど

2. ビンラディン殺害

- (1) 世界中に点在するテロ組織の実態
- (2) アルカイダ系テロ組織と非アルカイダ系テロ組織の違いと今後の動向
- (3) 今後テロの標的となりやすい国・施設・組織、またテロの手口に変化はあるか
- (4) ビンラディン死亡後のテロ発生状況

◆第二部 海外進出企業の対策に関する討議 15:40~17:00

【進行：安全サポート株式会社 取締役 倉持与四郎】

1. 対策に関する参考情報 【安全サポート(株)から】

- (1) 緊急国外退避についての方法とプロセス等
- (2) テロ対策について

2. 対策に関する討議 【勉強会ご参加者全員】

参加企業様の海外治安対策の現状、予定している対策等に関し、講師の加藤朗教授を交え、情報交換と討議を行います。

以上

◆講師紹介

加藤朗（かとうあきら） 国際政治学者、桜美林大学リベラル・アーツ学群教授、国際学研究所所長

【略歴】

鳥取県生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業。
同大学院政治学研究科修士課程に入学。
在学中にシカゴ大学大学院に留学。
修士課程終了後、防衛庁防衛研究所に入所。
その間スタンフォード大学フーバー研究所客員研究員、
ハーバード大学国際問題研究所日米関係プログラム客員研究員、
モンタナ州立大学マンスフィールド研究所客員研究員などを歴任。

1996年 桜美林大学国際学部に助教授就任。
2001年 国際学部教授。
2007年 現職リベラル・アーツ学群教授に就任

◆セミナー会場

【開催場所】安全サポート株式会社 1階会議室
東京都千代田区永田町2-10-2永田町TBR

《最寄駅》地下鉄：千代田線 国会議事堂前駅、南北線・銀座線 溜池山王駅5番出口から
地上へ出て信号を渡り、ザ・キャピトルホテル東急を正面にして右方向へ
徒歩約1分。

【地図】

